

# ユネスコ創造都市金沢 モニタリングレポート2017-2020

## 目 次

1. 要 旨	1
2. 概 要	3
3. ネットワークのグローバルマネジメントへの貢献	3
4. UCCNの目標を達成するために実施した地域及び都市レベルでの主な取組	4
5. UCCNの目標を達成するために都市間及び国際的な協力を通じて実施した主な取組	7
6. 今後4年間の中長期のアクションプラン	10
7. コロナ禍における芸術文化施策	13

# 1 要旨

金沢市では、2009年にユネスコ創造都市として認定を受けて以来、官民の連携により「創造都市推進プログラム」を策定し、文化のビジネス化、人材の育成、世界への発信という観点から3つの将来像を掲げ、計画的に事業を推進してきた。市の重点戦略計画においても、創造都市の推進を重点施策に位置づけ、様々な取組を行っている。

## 創造都市・金沢が目指す将来像

### 1. 文化とビジネスをつなぐまち

本市の伝統工芸やその技術を生かした高付加価値の商品開発や、職人氣質に根ざしたものづくり産業を振興し、海外にまで新たな販路を開拓するような、創意工夫に富んだ企業が数多く存在する都市を目指す。

### 2. 創造の担い手を育てるまち

ものづくりの後継者、文化芸術活動を担う若い世代等が、育ち、集い、競い、創造性を発揮する機会に恵まれるとともに、市民一人ひとりが、本市の伝統工芸や芸能に誇りと愛着を持ち、職人や作家たちを支え、日々の生活や文化的催し等への参加を通じて、質の高い生活を送れる都市を目指す。

### 3. 世界を引きつけるまち

ユネスコ創造都市ネットワークを通じた工芸の職人や作家、経済人等の連携を促すとともに、世界の「交流拠点都市」金沢として、21世紀の都市や自治体のあり方、地球規模の諸課題、世界平和の実現等についての国際的な会議が不断に開かれるような国内外から多くの人々が集う都市を目指す。

## ネットワークのグローバルマネジメントへの貢献

金沢市は2009年の認定以降、すべての会議に出席している。2019年には、クラフト&フォークアートの分野別会議を主催した。

## UCCNの目標達成のために実施した地域及び都市レベルでの主な取組

金沢クラフトビジネス創造機構、dining gallery 銀座の金沢、KOGEI フェスタ、KOGEI Art Fair Kanazawa、GO FOR KOGEI、金沢卯辰山工芸工房技術研修者奨励金、金沢の文化の人づくり奨励金、金沢美術工芸大学による国際交流研究、金沢工芸子ども塾、金沢ユネスコスクール推進、金沢21世紀工芸祭、金沢箔国際プロモーション、外部研究機関等との共同研究

## UCCNの目標を達成するために都市間及び国際的な協力を通じて実施した主な取組

- ・アーティスト・イン・レジデンス&クロッシング・アート・レジデンシー
- ・ユネスコ創造都市ネットワーククラフト&フォークアート分野別会議2019
- ・ユネスコ創造都市国内ネットワーク会議2020
- ・東アジア文化都市2018金沢

## 今後4年間の中長期のアクションプラン

金沢市は、2016年に「文化創生新戦略2020」を策定し、世界に文化都市金沢を認知させ、文化の力によって都市の活性化を図る取組を進めてきた。2020年に計画が終了することから新たに2021年から10年間を対象とした文化芸術アクションプランを策定（予定）し、その実現に向けて取り組んでいく。また、2020年3月に「金沢KOGEIアクションプラン」を策定し、「作り手と使い手を育み、未来へ継承・発展させる世界の工芸都市 金沢」を基本理念とし、工芸が日々の暮らしに息づき、手仕事の技能と知恵を継承・発展させるとともに、心を動かす新しい工芸を創造し、世界を引きつけるまちを目指す。

### 金沢KOGEIアクションプラン 将来像

<b>工芸が息づくまち</b> 市民生活の中に格調高い技と美に対する豊かな感性を育んできた歴史的背景を大切にし、工芸が暮らしに息づくまちを目指す。	<b>工芸を育むまち</b> 工芸に携わる「作り手」「使い手」「つなぎ手」が連携し、工芸を金沢のまち全体で育てる仕組みを作り、工芸を育むまちを目指す。
<b>工芸が世界に羽ばたくまち</b> 工芸に関するビジネスが集積し、世界の工芸との交流が生まれ、金沢から世界へと工芸が羽ばたくまちを目指す。	<b>工芸を未来に伝えるまち</b> 何世代にも渡り受け継がれてきた技術を継承するとともに革新を加えることで、未来に向けて新しい工芸を創造するまちを目指す。

また、金沢市は、2020年に日本国政府より「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」に選定され、ユネスコ創造都市金沢の根底にある自然・歴史・文化に基づく生物文化多様性をベースとした、金沢の「日本の由緒あるもの」の豊かさを市民・来街者の双方が理解したうえで、まちの魅力を共創し、持続可能な街づくりを実現する取組を推進する。



### ネットワークの目標達成を目的とした国内レベルでの取組

- ・ 国立工芸館との連携
- ・ 教育・革新の拠点施設整備
- ・ 文化関連イベント

### ネットワークの目標達成を目的とした国外レベルでの取組

- ・ 長期アーティスト・イン・レジデンス
- ・ 国内外に金沢の工芸を発信する工芸関連イベント
- ・ ゲント市（音楽分野の創造都市）との姉妹都市提携50周年記念事業

## 2 概要

都 市 名 : 金 沢 市  
国 名 : 日 本  
創 造 分 野 : クラフト & フォークアート  
認 定 年 月 日 : 2009年6月8日  
報 告 書 提 出 日 : 2020年12月31日  
報 告 書 の 責 任 者 : 金 沢 市 長 金 沢 創 造 都 市 推 進 委 員 会 会 長 山 野 之 義  
前 回 報 告 書 提 出 日 : 2016年11月  
連 絡 担 当 者 : 金 沢 創 造 都 市 推 進 委 員 会 事 務 局 長 高 桑 宏 之

## 3 ネットワークのグローバルマネジメントへの貢献

**2017-2019 ユネスコ創造都市ネットワーク会議出席実績：3回（通算11回）**

2017年 第11回アンギャンレバン会議  
2018年 第12回クラクフ・カトヴィツェ会議  
2019年 第13回ファブリアーノ会議  
※2009年リヨン会議以降11回の会議にすべて出席

**ユネスコ創造都市ネットワーク会議主催実績：レポートの対象期間の主催はなし**

※2015年ユネスコ創造都市ネットワーク会議主催

**1つ以上の創造分野の代表者に向けた会議の主催実績（分野別会議を含む）：**

2018年 創造都市ネットワーク日本 創造都市政策セミナー 12月4日～5日  
2019年 ユネスコ創造都市ネットワーククラフト & フォークアート分野別会議 10月14日～16日  
2020年 ユネスコ創造都市国内ネットワーク会議 10月9日～10日



**コーディネーター都市在任期間：レポートの対象期間は在任なし**

※2015～2016 クラフト & フォークアート分野 副コーディネーター

**申請書の評価への参加：2017年 1都市、2019年 1都市**

## 4 UCCNの目標を達成するために実施した地域及び都市レベルでの主な取組

ユネスコクラフト創造都市として、金沢市は、文化のビジネス化、人材の育成、世界への発信というそれぞれの観点から3つの将来像を掲げて事業を展開している。

### 1. 文化とビジネスをつなぐために

本市の伝統工芸やその技術を生かした高付加価値の商品開発や、職人氣質に根ざしたものづくり産業を振興し、海外にまで新たな販路を開拓するような、創意工夫にとんだ企業が数多く存在する都市を目指している。

#### 金沢クラフトビジネス創造機構

金沢の魅力の中核である工芸を振興するとともにビジネス化を推進し、その販路や内外への発信を担うため、金沢クラフトビジネス創造機構を2011年4月に設立し、戦略的な事業展開を行っている。

#### dining gallery 銀座の金沢

金沢が世界に誇る伝統工芸と現代を感じる新しい工芸からなる「金沢クラフト」の魅力を総合的に発信する拠点施設として、情報と人の集積地である東京に、2014年10月、「dining gallery 銀座の金沢」を開設した。ギャラリーでは金沢の工芸を展示・販売し、ダイニングでは金沢の旬の食材を使った料理が提供され、開設以来、毎年10万人以上が来店している。

<http://ginzanokanazawa.jp/>



#### KOGEIフェスタ

金沢市民及び国内外からの来場者が、金沢の魅力である工芸を見て・触れて・体験する機会を創出し、市内の工房やギャラリーとともに「工芸のまち・金沢」を発信する事業として2016年から開催している。



#### KOGEI Art Fair Kanazawa

KOGEI Art Fair Kanazawaは、2017年より毎年開催されている国内唯一の工芸に特化したアートフェアで、工芸の新しい美意識や価値観を「KOGEI」として世界に発信している。このイベントは、民間団体が中心となって開催され、地元企業や地方自治体が開催を支援している。第4回目の2020年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響に伴い、これまでのホテルアートフェア形式からOnline Viewing Room形式にて開催した。国内外の22ギャラリーが集結し、新進気鋭の若手から世界で活躍するアーティストの作品までオンライン上で展示販売した。

<https://kogei-artfair.jp/>



## GO FOR KOGEI

GO FOR KOGEIは、民間団体が中心となって北陸3県7都市で工芸の魅力を発信するために2020年に形成されたプラットフォームで、「GO FOR KOGEI～北陸で出会う、工芸の可能性」と題して「STUDIO & WORKSHOP TOURS」及び「6つの工芸祭とアートフェア」をリアル+オンラインで開催し、多様な工芸が集結する北陸から、ウィズコロナ時代における工芸のある暮らしの新たな魅力や楽しみ方について提案した。

## 2. 創造の担い手を育てるために

将来のものづくりや文化芸術活動を担う若い世代が、育ち、集い、競い、創造性を発揮する機会に恵まれるとともに、市民ひとりひとりが伝統工芸や芸能に誇りと愛着を持ち、職人や作家たちを支え、質の高い生活を送ることができる都市を目指している。

### 金沢卯辰山工芸工房技術研修者奨励金

金沢卯辰山工芸工房に技術研修者として在籍するものに対して奨励金を交付し、伝統工芸の継承や後継者の育成を強化し若手作家が活躍するまちを目指している。

### 金沢の文化の人づくり奨励金

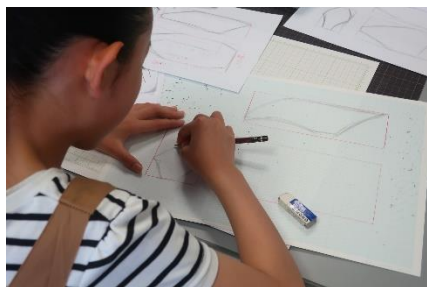
伝統芸能及び伝統産業の継承・発展のために、指導的役割を果たす人材の海外等研修費用に対して支援を行うことにより、伝統芸能等の後継者の育成を強化する。

### 金沢美術工芸大学による国際交流研究

金沢美術工芸大学が交流協定を締結している海外の美術大学と学生及び教員の相互派遣を行ったほか、国際的な芸術家・研究者を金沢に招き、学生や市民を対象とした講演会等を開催している。

### 金沢工芸こども塾

将来の工芸作家の発掘と育成に向けて、子どもの頃からものづくりに接して、工芸の資質を磨くため、2年間で1期として、デザイン実習や工房見学などを通して、工芸の基礎的な知識・技術を学び、金工・陶磁・染色・漆芸の各分野において作品を制作して、工芸に対する理解を深める。



### 金沢ユネスコスクール推進

持続可能な社会の担い手を育成するために、市内小中学校のユネスコスクールへの加盟を促進し、金沢の伝統文化、環境、国際理解などに関する学習の充実や国内外の加盟校との交流推進を図っている。（ユネスコスクール設置数 77（小学校53、中学校24））

### 3. 世界を引きつけるために

ユネスコ創造都市ネットワークを通じた工芸の職人や作家、経済人等の連携を促すとともに、世界の「交流拠点都市」金沢として、国内外から多くの人々が集う都市を目指している。

#### 金沢21世紀工芸祭

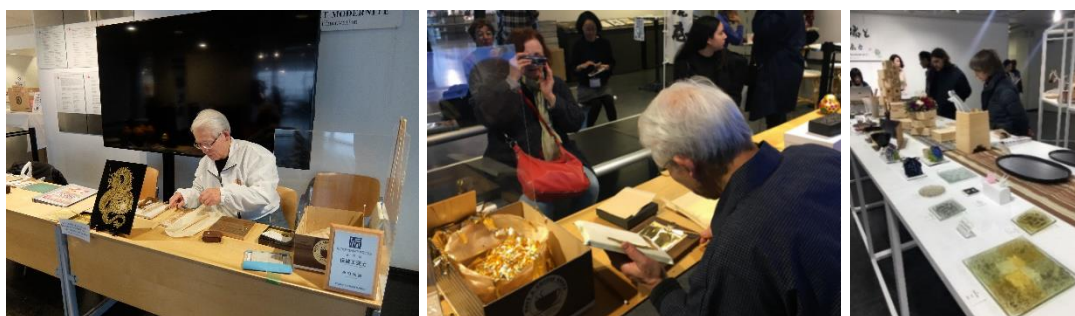
工芸のまち金沢が開催する工芸フェスティバルである。工芸と食の催し「趣膳食彩」、点在する町家を会場とした回遊型展示「工芸回廊」、会場やテーマに趣向を凝らした「金沢みらい茶会」、ワークショップ「金沢みらい工芸部」、アートスペース連携企画「金沢アートスペースリンク」、5つのメインコンテンツで、工芸を通じて金沢の魅力を発信した。



#### 金箔箔国際プロモーション

金箔箔技術振興研究所は、2020年1月にフランス・パリのパリ日本文化会館で開催された第7回「伝統と先端と～日本の地方の底力」（主催（一財）自治体国際化協会パリ事務所）に金沢市から金箔箔関連企業4社が出展するための支援を行った。会場では、金箔工芸品、食用金箔、金箔ジュエリー等が展示され、箔職人による実演も行った。

※2020年12月、金沢市が日本でほぼ100パーセント生産する「縁付金箔」を含む日本全国の17分野の技術が「伝統建築工匠の技 木造建造物を受け継ぐための伝統技術」として、ユネスコ無形文化遺産に登録され、金箔箔の技術の価値が世界的に認められた。



#### 外部研究機関等との共同研究

クラフト創造都市・金沢の持続可能な発展や21世紀における創造都市の意義・役割等について、学術的な視点から国内外へと発信するため、外部研究機関等との共同研究を行っている。

2019年10月には、クラフト&フォークアート分野の分野別会議を行い、最終日に国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（UNU-IAS OUIK）は関連イベントとして「文化で都市をサステイナブルにするには」と題してシンポジウムを開催し、基調講演ではベルギー・ゲント市の取組が発表され、パネルディスカッションではタイ・チェンマイ市がパネリストとして登壇した。





## 5 UCCNの目標を達成するために都市間及び国際的な協力を通じて実施した主な取組

### アーティスト・イン・レジデンス&クロッシングアートレジデンス

金沢市が主催したユネスコ創造都市ネットワーク会議2015を契機として、2016年よりアーティスト・イン・レジデンス事業や異分野の創造都市とのクロッシング・アート・レジデンス事業を実施し他の創造都市との交流を深めた。

#### 1) 工芸×工芸 (中国・景德鎮市、韓国・利川市)

2018年に金沢市の陶芸家が利川市の陶磁徒弟プログラムに参加し、約2週間利川市にて滞在制作を行った。



2019年に韓国・利川市、中国・景德鎮市より陶芸家を招聘し金沢市にて滞在制作を行った。滞在中は、市民を交えて陶芸実演や日中韓の陶芸家同士のアーティストトークイベントを実施した。



#### 2) 工芸×メディアアート (フランス・アンギャンレバン市)

2017年に金沢市のガラス造形家がフランス・アンギャンレバン市に滞在し地元のメディアアーティストとともに工芸とメディアアートを融合した作品を制作した。



#### 3) 工芸×映画 (韓国・釜山広域市)

2018年に韓国・釜山広域市より映像作家2名を招聘し、金沢の工芸や工芸作家・職人を題材とした映像作品を制作した。



## ユネスコ創造都市ネットワーククラフト&フォークアート分野別会議2019

金沢市は2019年10月に第3回クラフト&フォークアート分野別会議を主催した。会議の開会にあたり、2018年に国連SDGsアクションアワードを受賞したゲント市（音楽分野の創造都市）を招聘し基調講演を実施し、SDGsに関する優良事例を学んだ。台風の影響もあり参加者は減少したが、7カ国9都市から26名の参加があり、各都市が抱えている課題について議論した。また、金沢の文化体験を行うなど、金沢の工芸に触れる機会を提供し同分野の他の創造都市に金沢の工芸を発信した。



## ユネスコ創造都市国内ネットワーク会議2020

2018年より日本国内のユネスコ創造都市の代表者が毎年一回会議を開催し、国内加盟都市の取り組みの情報共有、相互の連携を進め、都市間のネットワーク強化と創造都市相互の発展に寄与することを目指している。2020年は金沢市が主催し、新型コロナウイルス感染症拡大の中、対面形式とオンライン形式を組み合わせて会議を開催した。また、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（UNU-IAS OUIK）の協力を得て、参加者は基調講演「SDGsから創造都市を考える」と調査報告「文化の観点からのSDGs達成指標」を聞き、「文化の観点からのSDGs達成指標」を用いてワークショップを実施した。



## 東アジア文化都市2018金沢

日本・中国・韓国の文化大臣合意に基づき、各国から各1都市を選定して実施する文化交流事業「東アジア文化都市2018」を金沢市で開催した。中国・ハルビン市及び韓国・釜山広域市（映画分野の創造都市）とともに年間を通して、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベントを実施した。2019年以降も両市との交流事業を継続している。

### 1) 日中韓文化交流事業

文化多様性への理解促進を図るため、3都市共通テーマによる市民交流、青少年やクリエイター等の相互派遣を実施した。



### 2) 価値創造事業 × (かける) プロジェクト

金沢を象徴する文化産業「工芸」と異なる分野をかけあわせ、新たな価値を生み出すことを目的としたプログラム「工芸×霊性」、「工芸×子ども×野焼陶芸」、「工芸×建築」、「工芸×くらし」、「工芸×色×感性」を実施した。





## その他の取組

### サブネットワークミーティングへの参加

- 2017 アンギャンレバン会議サブネットワークミーティング
- 2018 利川市サブネットワークミーティング  
クラフ&カトヴィツェ会議サブネットワークミーティング
- 2019 金沢市サブネットワークミーティング（主催）  
ファブリアーノ会議サブネットワークミーティング

### 蘇州市世界クラフト&フォークアート首都サミットフォーラムへの出展

2019年に蘇州市で開催されたフォーラムに金沢市より加賀友禅作家が出展し実演や作品の展示を行った。



### 利川セラミックフェスティバル2018 ワークショップへの招待参加

2017年に利川市でのアーティスト・イン・レジデンスプログラムである陶磁徒弟プログラムに参加したアーティストがワークショップに参加した。

### 全州「ビビンバ祭り2018」への参加

全州市の誇る食文化の一大祭典であるビビンバ祭りに本市工芸家を派遣し、本市の希少伝統工芸である加賀象嵌の実演・体験を行うとともに、金沢九谷の器に韓国の「韓定食」や韓国伝統菓子を盛り付けて展示し、工芸と食文化の融合を目指した交流を実施した。



### タイ・ナーン県 クラフト&フォークアートフォーラムオンライン出席

2020年にタイ・ナーン県はチェンマイ市を含むタイの創造都市とともにクラフト&フォークアートフォーラムが開催し、金沢市は韓国・利川市、日本・丹波篠山市とともにゲストスピーカーとしてオンラインにて都市の取組を発表した。

## 6 今後4年間の中長期のアクションプラン

金沢市は、2016年に「文化創生新戦略2020」を策定し、世界に文化都市金沢を認知させ、文化の力によって都市の活性化を図る取組を進めてきた。2020年に計画が終了することから新たに2021年から10年間を対象とした文化芸術アクションプランを策定（予定）し、その実現に向けて取り組んでいく。また、2020年3月に「金沢KOGEIアクションプラン」を策定し、「作り手と使い手を育み、未来へ継承・発展させる世界の工芸都市 金沢」を基本理念とし、工芸が日々の暮らしに息づき、手仕事の技能と知恵を継承・発展させるとともに、心を動かす新しい工芸を創造し、世界を引きつけるまちを目指す。

### 金沢KOGEIアクションプラン 将来像

<h4>工芸が息づくまち</h4> <p>市民生活の中に格調高い技と美に対する豊かな感性を育ててきた歴史的背景を大切に、工芸が暮らしに息づくまちを目指す。</p> <p>施策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①工芸を身近に感じる機会の創出</li><li>②工芸に親しむ「使い手」の育成</li><li>③「作り手」と「使い手」をつなぐ環境整備</li></ul>	<h4>工芸を育むまち</h4> <p>工芸に携わる「作り手」「使い手」「つなぎ手」が連携し、工芸を金沢のまち全体で育てる仕組みを作り、工芸を育むまちを目指す。</p> <p>施策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①「作り手」のスキルアップ支援</li><li>②生業として持続できるものづくりの推進</li><li>③まちなかでの制作環境の整備</li></ul>
<h4>工芸が世界に羽ばたくまち</h4> <p>工芸に関するビジネスが集積し、世界の工芸との交流が生まれ、金沢から世界へと工芸が羽ばたくまちを目指す。</p> <p>施策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①世界の工芸分野との人材交流</li><li>②世界的なアートフェアや見本市への進出、開催</li><li>③世界への工芸技術の発信</li></ul>	<h4>工芸を未来に伝えるまち</h4> <p>何世代にも渡り受け継がれてきた技術を継承するとともに革新を加えることで、未来に向けて新しい工芸を創造するまちを目指す。</p> <p>施策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①制作技術等の保存と継承の推進</li><li>②革新的なものづくりの推進</li></ul>

また、金沢市は、2020年に日本国政府より「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」に選定され、ユネスコ創造都市金沢の根底にある自然・歴史・文化に基づく生物文化多様性をベースとした、金沢の「日本の由緒あるもの」の豊かさを市民・来街者の双方が理解したうえで、まちの魅力を共創し、持続可能な街づくりを実現する取組を推進する。





## 6.1 ネットワークの目標達成を目的とした国内レベルでの取組、プログラム、プロジェクト

### 国立工芸館との連携

東京国立近代美術館工芸館（国立工芸館）は、2020年10月に東京から金沢に移転した。周辺には鈴木大拙館、中村記念美術館、金沢21世紀美術館や石川県立美術館や歴史博物館といった文化施設が立地し、市内の文化芸術エリアを形成している。それらの施設が連携しながら、工芸をテーマとして講演会やワークショップ、セミナーなどを開催し、工芸の持つ力でまちをより一層元気にするとともに、世界から注目を集めるユネスコ創造都市を目指す。



### 教育・革新の拠点施設整備

#### 1) 価値創造拠点施設の開設

最先端技術や金沢固有の文化である食と工芸（KOGEI）を基にして、新たな価値を創造する者の支援及び次代を担う子供の独創力を育成することにより、新たなビジネスの創出と未来で活躍する人材の輩出を図るための拠点施設を開設する。



#### 2) 金沢美術工芸大学移転整備

金沢美術工芸大学の移転整備により、地域や世界に開かれた美と知の創造拠点として国際交流機能を強化し、様々な創造活動の交流を推進するとともに、領域の垣根を越えた美術・工芸・デザインの分野における質の高い教育研究を実践し、未来を担う人材を育成する。



### 文化関連イベント

#### 1) 2021の東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム

2021年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、オリンピック憲章に基づき、スポーツの祭典としてだけでなく文化の祭典として成功させるため、本市固有の魅力を生かした文化プログラムを実施する。



#### 2) 国民文化祭

国民文化祭は、日本国政府文化庁、選定された開催都道府県、開催市町村及び文化団体等が主催事業を実施し、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典で、2023年に金沢を県庁所在地とする石川県が開催都市として選定されており、金沢市も関連事業を実施する。

## 6.2 ネットワークの目標達成を目的とした国外レベルでの取組、プログラム、プロジェクト

### 長期アーティスト・イン・レジデンス

金沢卯辰山工芸工房を利用した長期アーティスト・イン・レジデンス事業を実施し、金沢の工芸の魅力を他の都市に伝えながら、アーティスト同士の交流を通して他の創造都市との交流を深める。滞在期間中はアーティストが金沢の文化体験や市民向けのワークショップを行い都市や自身の作品について紹介する。また、新たに設置される革新の拠点施設を活用して異なる創造都市からアーティストを招聘してアーティスト・イン・レジデンス事業を実施し、異分野交流を深める。



### 国内外に金沢の工芸を発信する工芸関連イベントの開催

#### 1) 金沢・世界工芸トリエンナーレ2022

金沢・世界工芸トリエンナーレは、時代とともに変化する工芸の位置づけや枠組みを問うとともに新たに生まれてくる新しい時代の工芸を展覧会を通じて国内外に紹介していくことで世界の工芸振興に寄与することを目的としている。2019年に開催された第4回では、「越境する工芸」をテーマとして公募展と企画展を開催した。第5回を2022年に開催する予定である。



#### 2) 国際工芸サミット2021開催

「国際工芸サミット」は、文化庁と工芸の一大産地である北陸三県が協力し、工芸の魅力を世界に発信することを目的として、国内外の工芸作品を集めた展示、シンポジウムや、食文化など工芸と関連する他分野を巻き込み、日本文化の魅力を伝えるイベントであり、ユネスコクラフト創造都市として、工芸を通じた国内外の創造都市との文化交流・発信を行う。

### гент市（音楽分野の創造都市）との姉妹都市提携50周年記念事業

金沢市とгент市の姉妹都市提携50周年を記念して、2021年にгент市で活躍する音楽団гент・ユース・ジャズ・コレクティブを招聘し、記念式典にて金沢市のジュニアジャズオーケストラJAZZ-21とともに演奏し、音楽を通じた市民間の交流を深める。



## 6.3 提案されたアクションプランのための予算見積額（人材、施設など）

### 年間予算

項目	2020年度予算	主な事業
クラフト創造都市推進費	183,213 千円	KOGEIフェスタ！開催等
伝統産業振興費	112,859 千円	金沢の文化の人づくり奨励金等
創造都市推進費	10,837 千円	ユネスコ創造都市交流事業
文化の人づくり推進費	35,000 千円	金沢工芸子ども塾
卯辰山工芸工房技術研修者奨励金	36,400 千円	
職人技術向上費	59,659 千円	金沢職人大学校運営
文化施設運営費	499,026 千円	市民芸術村、卯辰山工芸工房等
金沢21世紀美術館運営費	462,777 千円	
金沢美術工芸大学運営費交付金	922,201 千円	

## 6.4 コミュニケーションと認知度向上についてのプラン

ユネスコ創造都市金沢のウェブサイトを通じ、国内外に積極的に情報発信を行っている。  
<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/11001/souzoutoshi/index.html>  
関係都市とZoomやSkypeを通じてビデオ会議を実施している。  
金沢卯辰山工芸工房の動画を制作する予定で、金沢の工芸を発信し、優れた人材や技術、最先端の素材や情報を呼び込む施設を目指す。  
また、日本国内の創造都市とともに情報発信を行うためのSNSアカウントを立ち上げる予定である。



## 7 コロナ禍における文化創造分野支援施策

### 金沢市デジタル工芸展 <https://kanazawa-dkogeicom/>

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、金沢市工芸協会が分野の垣根を越え、金沢を拠点に活動する工芸作家、職人に参加を呼びかけ、インターネット上で工芸展を開催し、作品、技法、つくり手など、金沢の工芸の魅力を発信する。作品出品に際して、一人10万円を助成し、400名を超える工芸作家が参加した。



### 金沢市芸術文化振興緊急奨励金

新型コロナウイルス感染症の影響により活動の継続が困難となった市内の文化芸術団体、実演家に対し、芸術文化の振興・発信のために新たに取り組む事業（新型コロナウイルス感染症対策に関する3原則を遵守するもの）を支援するため、奨励金を交付した。

金沢 | ユネスコ クラフト創造都市  
2017～2020モニタリングレポート  
2020年12月31日  
電話：076-220-2031 FAX：076-264-2535

